

# 女性委員会ニュース



NO. 65

連合山形女性委員会  
 発行人 木口久仁子  
 TEL.023-625-0555  
 FAX.023-624-7661

## 6月男女平等月間の女性委員会の取り組みについて

連合山形は、毎年6月を男女平等月間と定め、男女平等課題について各種取り組みを進めております。女性委員会としても「女性のための労働相談ホットライン」をはじめ男女平等社会の実現のために様々な取り組みに参画しています。

### 「女性のための労働相談ホットライン」及び街宣行動

6月15（金）～16日（土）、全国一斉の「女性のための労働相談ホットライン」が実施され、開始の10時とともに相談の電話が鳴り出しました。

連合山形では、男女平等月間の活動の一環として、「女性のための労働相談ホットライン」と周知のための街宣行動を各地域協議会においても一斉に行っており、女性委員会のメンバーも相談員として参加しています。セクハラやマタニティハラスメント、パワハラなどの相談が多く寄せられ、担当の女性相談員が相談者に寄り添って、丁寧にアドバイスしました。

【街宣行動】



【街宣行動】



【街宣行動】



【女性相談員】



## 連合山形女性委員会が山形労働局へ要請行動 女性が活躍できる職場・社会環境の整備を！

6月26日、女性委員会（木口久仁子委員長）は、山形労働局を訪れ、磯敦夫雇用環境・均等室長に「雇用における男女平等に関する要請書」を手交しました。

要請は、「仕事と育児・介護・不妊治療の両立について」「ハラスメントのない職場環境の整備について」「女性が就労しやすい職場づくりの促進について」の3項目。要請書の手交後、木口委員長をはじめ4名の女性委員会メンバーが、山形労働局磯室長らと意見交換し、女性活躍推進法に基づく行動計画策定の「くるみん認定」に向けた男性の育児・介護参加を促進するための方策や労働局内に開設した「ハラスメント対応特別相談窓口」の周知と個別相談から監督指導につなげ、解決を図る機能の強化など、実効性のあるものとなるように現場の声を伝えました。



## 2018トップリダー 男女平等参画推進宣言

2016年度に男女平等月間の取り組みとして「トップリダー男女平等参画推進宣言」を作成し、男女平等参画意識の高揚に向けて取り組みました。そして今年度、過去2年間の男女平等課題について各構成組織における進捗状況の確認と、更なる意識の高揚をを目的とした「2018トップリダー男女平等参画推進宣言」を作成し、ポスターを各構成組織の単組に配布しました。



## 東北ブロック男女平等参画推進 フォーラムの開催

6月の男女平等月間の連合東北ブロックの取り組みとして、毎年各県持ち回りで開催されている「東北ブロック男女平等参画推進フォーラム」が岩手県で開催されました。総勢70人が参加者し、山形からは7人が参加しました。

フォーラムでは、連合総合男女・雇用平等局長 井上久美枝さんから、テーマである「SOGIを職場に、社会に」について講演をいただき、LGBTの当事者である齋藤百合子さんからは、より具体的な内容の講義を受け、グループワークによる課題解決に向けた意見交換を行いました。



## 2018 山形県男女共生集会

6月の男女平等月間の取り組みの一環として、7月13日に「2018男女共生集会」を開催しました。

男女共通課題である「人間関係を良くするコミュニケーションスキルアップ」をテーマに、山形県在住の塩野貴美さんを講師に招き、90人の参加者が16班に分かれロールプレイ方式の講演を行いました。

参加者からは、職場の人間関係、お客様との対人関係、家庭内でのコミュニケーションなどについてヒントをもらい、すぐ実践してみたいという感想が多く出されました。集会の最後に「STOP! 仕事におけるジェンダーに基づいた暴力」キャンペーンのアピールを行ない、あらゆるハラスメントの根絶に向けて認識を新たにしました。

